

令和 5年 11月 15日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 5年 11月 14日

開催場所・・・地域活動支援センター ビ・フレンジィング

出席者

| | | | |
|---------|-----|----------|-----|
| 事業所 | 1 人 | 利用者 | 人 |
| 利用者家族 | | 地域代表者 | 2 人 |
| 松江市職員 | | 包括支援センター | 1 人 |
| 知見を有する者 | | その他 () | 人 |

活動状況報告

1) 入所状況について

- ・10/31に70代男性(要介護1)入所された。自立度も高く今のところ混乱もなく生活できて要る。

2) 生活状況・活動報告

- ◎訪問看護は前回と変わらず毎回2名程度の看護師が来所している。
- ◎病院受診については感染予防対策をしながら対応継続中。
- ◎9/22 敬老会、大庭公民館から紙芝居を借りて2作品を見てもらい、茶話会を開催した。
- ◎9月 院内研修「褥瘡について」全職員資料研修
- ◎10月 院内研修「行動制限の基本」全職員資料研修
- ◎10月 院内研修「危険予知について」全職員資料研修

3) インシデント及び事故報告(9件)内容と対策について報告。

事故報告について、転倒による右手首の骨折。職員がコップを預かろうと声がけをした際に急に怒り出して手を振り上げたのを避けたためだったが職員が妊娠後期だったこともあり支える事ができなかった。

4) 身体拘束等虐待に関する報告について

- ・該当する事案はない
- ・12月に開催の高齢者虐待防止研修に参加予定。

意見交換

地) 以前より顔見知りだった入居の方に声を掛けてみたが「わからない」と言われ少し残念、前回来た時はまだ覚えておられたようだったが。

事) 混乱する事も少しずつ増えている。今日は落ち着きがないので次回来られた時にまた声を掛け

てあげて欲しい。

- 地) 色々と活動していた方が社会参加しなくなると急に認知機能が低下する事はよくある。自分達も近隣の方と声を掛け合っ一緒に歩いたりおしゃべりをして予防に気を付けている。
- 事) 前回は話に出ていたご家族の金銭管理に問題がある件について、福祉事務所の担当の方と社協の権利擁護事業担当の方においでいただき対応を検討し、本人名義の通帳をつくる事ができた。ご家族様にも説明し今後は本人名義の通帳を使用し、管理は今後成年後見制度を利用する方向で了解をしておられる。支払い等が順調に出来るようになれば傷んだ衣類の買い替え等も出来るようになると思う。
- 地) ご家族が了解されてなによりだった。ご本人が困られないよう生活ができそうだ。
- 事) 特養申込についてもご家族が必要事項を記入された書類を提出してあるので、順番を待ちながら対応を進めていきたい。要介護4での待機期間の傾向について最近はどうか？
- 包) 今すぐにはないだろうが、その時のタイミングによって数週間で入所という時もあるようだ。
- 事) ご本人にとって設備の整った環境で生活できるよう時々様子を確認してみる。

※事業所確認欄

| | |
|-------------------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 活動報告についての評価をうけることができたか | |
| <input type="checkbox"/> 要望・助言等を受ける機会を設けたか | |